



## ～～山はみどり 野に花 人にはこころ～～

前後するが、この旅では、**ワシントンにて、3泊。**

上記は、ワシントン、国会議事堂。**第35代大統領ジョン・F・ケネディ。**

アーリントン国立墓地に埋葬されている。お参りした次第。

と言うのも、学生時代、アメリカ文化センターと関係があって、全京都の学生連盟による**模擬国連**が開催され、アメリカの**国連大使役**をさせていただいたことがある。

いわゆる、**キューバへの核持込み問題。**

そんなご縁だが、思いがあって、アーリントン墓地を訪ねた次第。夢が実現。

北米大陸東部の旅、画像記録や旅のメモには、下記のような記録があるので、ご紹介。

画像だけのご紹介になる前に、経緯を下記に。

私的なメモながら、旅模様が想像できるのではないかと、あえてご紹介。

**人生も一人旅も、世の中には、表と裏がある。良いことより、大変なことが多いように思う。**

**久楽の場合は、特殊なケースといえる。取材チャンスも、思い通りにいかない。**

**旅は、3泊4日程度がいいのかもしれない。いいとこだけ見て、美味しいものを食べて、**

**脱日常の時間を楽しんで、いろいろ、思い出を残す。**

**人、それぞれ、考え方、価値観、感性が違う。そんな考え方が良いのかもしれない。**

## ～～米国・ポートランドから、ニューヘブンに宿泊～～

- ポートランドから、1号線と95号線で、ボストンへ。  
中国人街へ駐車。日本レストランで昼食。**日本を出国して、45日経過。**
- クインシーマーケットを探訪、お祭りで、しばらく、楽しい時間を過ごした。
- マリオネットの大道芸人が、大変上手で、子供達に人気があり、印象に残った。
- 温度は36度、汗が吹き出てきて困る。ここまで環境が変化すると大変だ。
- ニューヨークまでと思ったものの、遅くなるので、あきらめて、ニューヘブンで宿泊。

- モーテルも、銀行の窓口より厳しくガードされ、鍵も、別のチューブから受け取り。
- スーパーマーケットも、入口が二重、になっており、驚いている。
- 駐車場にも、警察車がパトロールしており、スキがあれば、事件が発生する環境なのか。
- 人との会話、トイレ、位置、・・・ 用心、用心、ガードしなければと思う。
- ボストンから、ニューヘブンまでに、土地土地の雰囲気があり、面白い。
  
- 同じ地名が多くあり、困る。
- 夜間もニューヘブンは、36～7度あり、汗と湿気で、気持ちが良くなり、寝不足になる。  
人の心も荒くなるのではないかと、ふと思った。
- 暗くなり、状況がわからず、しかし、ベッドとシャワーが欲しかった。
- モーテルも、汚れ、壁も傷ついている。利用する人の人柄が出ていて、落ち着かない。  
大変な宿に宿泊したようだ。環境を推測。着の身着のまま寝るのが正解と判断。
- 前夜宿泊のポートランドでは、ラジソン、イースタンプラザホテルに、140ドルで宿泊。  
部屋は、シャワーだけだった。
  
- プロレスラーのような黒人白人、横に寄ってこられると、正直、恐ろしくなり、警戒。
- この暑さとストレス、生活不安（失業）。エネルギーの発散はどうなるか心配だ。
- 自動車と人の多さには、何か悪い予感がする。増え続けるかと思うと、恐ろしくなる。
- 目撃。人間、性悪説か性善説か、性悪説と言いたくなるような事件が多い。

## ～～ニューヘブンから、次の日、ワシントンに宿泊～～

- ここまで来たのだから、ニューヨークへ立ち寄り、いつもの寿司屋さんに  
顔を出してみようと思う。
- トイレなどで、話しかけてこられるので困る。しっかり、目を見ているので  
大丈夫だとは思うが
- ワシントンで、道に迷ってしまい、黒人ばかりの街に入ってしまったのには驚いた。
- 夏のワシントンより、冬のワシントンがいい。この地域、落ち着きがないように感じる。
- 朝7時のテレビ番組に、黒人牧師による説話。どう解釈するか、戸惑う。

- 車の置き場所を忘れた失敗談は後述。雨の中、2時間近く捜したドジな話。
- アメリカ合衆国を追いかける日本。ヨーロッパ風を、日本独自のものを大切にしたい。
- 国際親善を図りながら、デモンストレーションしながら、日本独自の方向を選択するのがベターと思う。
- 海外に出て、日本が心配になる。老若男女、価値観、国、人身、どうなっていくのか。
- 遠海ものは別として、大西洋の魚介類は今ひとつ。太平洋の魚介類は美味しい。
- 人間も荒波にもまれることが大切。老年期に入ると、振り子が、触れすぎないこと。
- 支軸の強化。振幅は、適度でなければ、人間、ダメになる。創意工夫を。

以上は、**箇条書きの、旅記録のメモ。当時の記述をそのまま、書いている。**

若い時は、世の中を知らないから、多少の無謀なこともできるが、悪いことばかりではない。

失敗することで、大きな学びや、成長、人生、生き方、等々、道が開けるように思う。

厳しい状況下での画像記録は、好きだからできること。

この時、ワシントンは、雨模様。色が悪い画像記録だが、掲載させていただいた。

くら〜く げーぶる  
久楽迎古の世界の旅は、50歳からの人生再挑戦。**自分への再投資**だった。

**いつまでたっても、進歩しないが、今年、夢挑戦 30周年。**

人生まだまだ頑張りたいが、明日のことはわからない。今に出来ることを全力投球するのみ。

